

Living the LOTUS

Buddhism in Everyday Life

2
2019

VOL. 161



正直一本やり

心から信じられる人を一人でも持つことができた
ら、その人生は成功だといえるのではないでしょ
うか。信仰はそのためのものだ、といってもいいと思
うのです。仏さまがすべてをご照覧だと信じられるこ
とが、信仰のいちばんの功德だと思うからです。

世間一般では、人さまには見せられないところが
半分でも通る場合もあるかもしれませんが、心に仏
さまを持っている人は、百パーセント正直一本やり
でいくしかありません。ちょっと人をごまかして、うま
いことをしてやろうといったことはできないかわりに、
善いことをすれば、だれが見ていなくても、だれが

分かってくれなくても諸仏諸天善神しよぶつしよてんぜんじんがご照覧だ、と
努力する張り合いが持て、すべてをおまかせできて
心がぐらつきません。

私のこれまでの人生を振り返ってみても、いちば
んの幸せは、仏さまを信じきって疑うことなく今日ま
でこれたことに尽きると言いけることができます。そ
のお陰さまで、出会う人出会う人を、なんの心配も
なく信じることができたのだと、あらためて思わずに
いられないのです。

(『開祖随感』9, p. 190-191)

Living the Lotus 2019年2月号 (Vol.161)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1

普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 鈴木健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によっ
て創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教
団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、
平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在
は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝
道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさ
え、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の
教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本
誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

人を思いやる「心の習慣」

立正佼成会会長 庭野日鏡

得は徳に通じる

街のなかで困っている様子の人を見かけたとき、みなさんはどうされるでしょうか。そばに寄って声をかける人も多いと思いますが、気かけながらも、よけいなお世話かもしれないと、近づくのをためらう人もいることでしょう。

一概にはいえませんが、私たちはふだん、ものごとを損得勘定^{そんとくかんじょう}で判断し、得にならないことには消極的になりがちです。人は、なかなか欲得^{いちゃがい}ずくの心を超えられないのです。

最近では、トラブルに巻き込まれるかもしれないという懸念^{けねん}もあって、見ず知らずの人に声をかけるのは、確かに一文の得にもならないという見方もできます。しかし、ほんとうにそれは得にならないのでしょうか。

損得の「得」は道德の「徳」に通じる、といわれます。一文の得にもならないと思われることであっても、人さまを思うがゆえの実践は、それを行なう人の徳分として、人間的な成長など尊^{とうと}い心の財産になります。人として成長したいと願う欲得が、人間性の向上という「徳」を招き寄せるという意味で、「得」は「徳」に通じるということです。

ただ、そのことがわかっていても、困っている人を見て「なんとかしてあげたい」と願う気持ちを実際の行動に移す、その一步を踏みだす勇気が出ない人もいます。

無量義^{むりょうぎぎょう}経に「憐愍^{れんみん}の心を生じ大慈悲^{だいじひ}を発して將に救拔^{きゅうはつ}せんと欲し、又復深く一切^{いっさい}の諸法^{しよほう}に入れ」（説法品^{せっぽうほん}）とありますが、これは、菩薩^{ぼさつ}に「目の前の人を憐れみ、思いやりの心を奮^{ふる}い立たせて、『苦しみから救いだそう』と決心しなさい」





と教える一節です。そして、そのためには「自分本位の^{しゅうじやく}とらわれや執着を離れて、ものごとの^{みきわ}真実を見極めるよう^{しゅうじん}精進することが大切です」と説かれています。

要するに、なかなか損得勘定を捨てられない私たちでも、精進によって欲得^{よくとく}ずくの心を超えることができ、それが心の習慣になれば、どのようなときでも損得勘定^{まど}に惑わされずに、人を思いやる気持ちを自然に行動にあらわせるということです。

すべては一つ

「雪が降ったら／寒かろう／冷たかろうと／お墓に／傘をさしに行く／幼子亡くした／お母さん」

このような詩の一節を目にしたことがあります。子を亡くした母親の、切ない気持ちがよく伝わってきます。それと同時に、菩薩が人を思いやる心情というのはこういうことではないか、と教えられた気がしたのです。

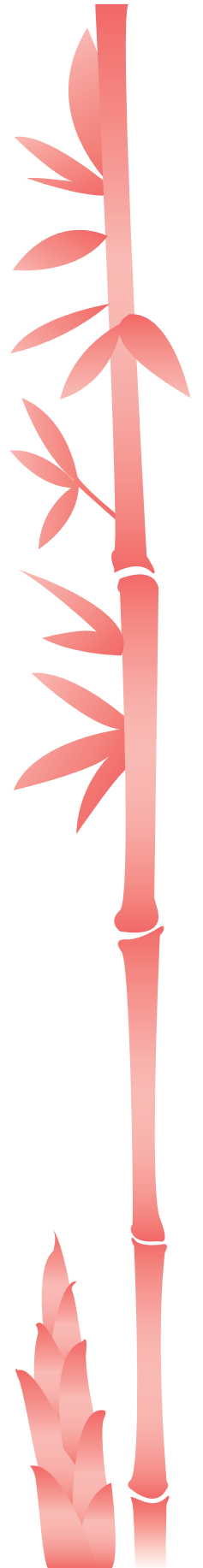
このお母さんは、いつでもわが子と身も心も一つにして生きています。寒いよ、冷たいよ、という声なき声を聴きとり、わきあがる思いを素直に行動に移したのだと思いますが、そこに菩薩の慈悲を見るのは、私だけではないでしょう。

先に述べた、「自分本位のとらわれや執着を離れて、ものごとの真実を見極める」というのは、この母親のように、自分と相手を一つと見ることです。さらに、すべてを一つと見れば、人の喜びや悲しみがよくわかり、そうしてわきあがる憐れみの心や慈悲の心に突き動かされて、思いやりを行動に移せるのです。「すべては一つ」という見方によって、思いやりが「心の習慣」になるということです。

以前、開祖さまの生誕地の新潟県十日町市を訪ねたとき、公園に建つ開祖さまの胸像が雨に打たれているのを見て、私も師父^{しふ}に傘を差しかけた覚えがあります。いつでも、だれに対しても、自然に思いやることができるよう、私もいっそう精進をしてまいりたいと思います。

ただ、至道無難^{しどうぶなんぜんじ}禪師は「慈悲して慈悲知らぬとき、仏というなり」と教えています。相手と一つになれば、慈悲をしているといった意識もしないまま、その思いやりがお互いの喜びや心の成長に結ばれていくのです。

(『佼成』2019年2月号)





自己を忘れ、人さまに寄り添うことで得られた功德



エリザベス・トーレス
サンアントニオ支部

この体験説法は、2018年10月28日に行なわれたサンアントニオ支部の入仏式で発表されたものです。

皆さま、お願い致します。

本日は入仏式という佳き日に、私の信仰体験を皆さまにお話できますことをたいへん光栄に思います。私の宝である素晴らしいサンガの皆さまの前で、身の引き締まる思いです。

私はヒスパニック系の家庭の四代目としてテキサス州で生まれ、ごく自然にカトリックの強い影響を受けて育ちました。

幼稚園の頃、カトリックの礼拝に参加するのは神様を賛美するためだと父から教わりました。父からは「神様はあらゆる場所におられるから、教会に行かなくても礼拝はできる」とも言われました。それ以来、「自然」が私の教会になりました。カトリックの私立小学校に通っていた頃は、カトリックの基本的な教義の中にいくつかどうしても信じることのできないものがあることで思い悩みました。両親に打ち明けると、信仰とは神様から授かるものだと言われました。

子ども時代を通して、とりわけ信仰宣言が求められる年齢になると、私の信仰心の不足が家族の口論の種になることもよくありました。私はまだ子どもでしたので、教会での礼拝や実習に参加するように強く言われましたが、それが自分の精神的な成長のために価値があるとは思えませんでした。自分に正直に生きていないように、私には感じられたのです。しかし、自分の信仰には何かが欠けていると感じていた半面、何か偉大なものに自分の人生は守られている、という確固たる信念や希望も私にはありました。

高校時代、学校の成績は良かったにもかかわらず

ず、私は非行に走りしました。学校には行かず、小さな犯罪に手を染めるようになりました。社会のルールに対して反抗的な態度をとるようになり、15歳の時にはデパートで万引きをして捕まりました。その時は父が手を尽くしてくれたおかげで、感謝祭の前日に拘置所から出ることができました。

私がトラブルを起こす原因は信仰心の不足だと父によく言われました。そして、自分より大きな存在を信じることの大切さを、父は私に対して強調しました。しかし、私はそうした信仰に憧れながらも、それまで通りの自分勝手な生活をやめられませんでした。

大学生になると、世界宗教の授業で仏教の考え方に触れる機会がありました。仏教を学ぶと、それまで温めていた自分自身の考えに最も近いように感じました。なかでも、自分が抱いていた宇宙意識の考えを「諸法無我」の教えとして理解するようになり、それが後に自分にとって救いになりました。「四諦の法門」と「八正道」は頭では理解できましたが、自分の信仰と



サンアントニオ支部で説法するトーレスさん

して取り入れて生活に生かすことまでは、当時はまだできませんでした。私はまだ自己中心で自由気ままな生活を続けていました。

大学時代、私はスターバックスで働き、そこで後に夫となる男性と出会いました。私は幸せでした。二人で家を買って、結婚5年後に可愛い娘のゾーイを授けられました。しかし、やがて私はそうした生活に飽き足らなくなり、すべてを犠牲にしても人生に冒険を求めたいと思うようになりました。人の信頼を裏切り、娘との大切な時間さえ二の次に考えるようになり、自分自身の健康も信仰もおざりになっていました。いろいろな恥ずべき行為を繰り返した挙句、15年続いた結婚生活は破綻し、離婚後の暗闇のような日々のなかで、私はドラッグと飲酒に慰めを求めるようになりました。

私の不安定な精神状態に娘は気づいていたようですが、そんな娘の気持ちを理解する余裕は私にはありませんでした。親子関係の悪化に気づいていても、自分の生き方を変えることができなかったのです。娘を学校に連れていく時間になっても私が家に帰らずどこにいるかもわからないことで、娘がどれだけ泣いているか知っているのかと、私は何度も両親に言われる始末でした。

2015年12月、私は飲酒運転で逮捕されました。翌年の夏に執行猶予付きの判決を受けた後も、執行猶予が取り消されそうになるまで飲酒をやめることができませんでした。その結果、私はアルコール依存症患者の自助グループに参加することを義務付けられ、その時初めて、私の人生には誰かの助けが必要なことを知り、共通の信念や価値観を持つコミュニティに加わることの重要性に気づきました。

立正佼成会のサンアントニオ支部を訪ねようと思ったのは、ちょうどその頃のことでした。私の家は支部道場のすぐ近くにあり、毎日のように車で前を通っていま

したが、最初に支部の存在を知ってからこの日初めて訪ねるまでに15年の月日が経っていました。初めてサンデーサービスに参加した時、なぜもっと早く来なかったのだろうと後悔しました。しかし、そんな時「学ぶ人の準備ができたときに師は現れるものですよ」と教えてくださる方がいました。佼成会に通い始めてすぐ、サンガは私の心の支えになりました。

初めて訪ねた支部で温かく迎えていただき、読経供養をされる信者さんたちの気迫に感動して、私は我が家に帰ったように感じました。それから数か月間、仏教の根本義と法華経の講座に参加し、教えに対する理解を深めることができました。

支部に通うようになって間もなく、ハワイで開催された第一回「マトイキャンプ」参加のお手配をいただきました。その時は、そんな名誉な機会に自分はふさわしくないのではと思いました。しかし、サンガの皆さんのおかげさまで私にも素晴らしい仏性が具わっていることを教えていただき、その時から、私は自分の仏性の存在を信じられるようになりました。

ハワイという特別な地で開催されたマトイキャンプは、異なる文化の融合が実現する素晴らしい機会でした。当初、マトイキャンプへの参加を一つの学びの機会と受け止めていた私は、そこで心を揺さぶられるようなサンガの交流と、人間としての成長を体験できるとは思ってもいませんでした。この時、私は自分の精神的な居場所を発見できたことを実感したのです。「諸法無我」と「正念」の教えを実践しながら、私の心はサンガの仲間たちに対する愛情と喜びに満たされていました。それは、とても言葉では言い表せないほどの感動でした。

しかし、マトイキャンプで新たなものの見方を教えていただいたにもかかわらず、家庭のなかではその後も娘との関係に悩む日々が続きました。別れた夫と娘と

の親子関係がとても良いことに腹が立ち、私は娘との間に距離を置いていたのです。しかし、その一方で、その頃には私は飲酒をやめていて、感情のコントロールができるようになり、周囲との関わりも持てるようになっていたため、心が落ち着いたことで、娘との距離を以前よりも意識するようになっていました。

内省と瞑想の実践によって、それから数か月後には、私自身の自己中心の考え方が苦の原因であることを自覚できるようになりました。そして一番大事なことは、娘を苦しみから救ってあげることだと気づいたのです。自己を忘れることがこれほどまでに重要な時はありませんでした。菩薩行の大切さを教えていただいたことで、私は娘の苦をやわらげ、娘への思いやりと理解を深め、娘に寄り添うことの大切さに気づくことができたのです。

すると、驚いたことに、教えをしっかりと受け止め、娘のことを思えるようになった瞬間、私たちの関係は良い方向に向けて転換したのです。娘にはこれからさまざまな経験が待ち受けています。そんな時に、この信仰とサンガをいただいていることをとてもありがたく思います。これまでの娘の人生を思うたびに、私の行動によって娘に混乱や不安を与えてしまったことが悔やまれてなりません。しかし、私はいま、娘の幸せを真剣に考えることで、思いやりの心で娘を支えてあげることこそが、自分自身が苦から救われる道であることに気づかせていただくことができました。

ご法に目覚めることで自分が変わり、そのおかげさまで娘とこのような親密な親子関係を築けたことに、私はいま感謝の気持ちでいっぱいです。人さまの幸せのために自己を忘れることが功德につながることを、私は身をもって知ることができました。こんなに有り難いことはありません。

「あるがままの姿をあるがままに受け入れられるとこ

ろに、真の解脱があるわけです」この一節は、開祖さまのお言葉の中で、私の大好きなものの一つです。「あるがままに受け入れる」ことの大切さを学ばせていただき、感謝の心でいっぱいです。

今回の体験説法のお役を通して、私はもう一つ素晴らしい経験をすることができました。それは、私を育ててくれたカトリックの信仰との再会です。いま、日曜日にはいつも両親と、それぞれの信仰を通して見つけた智慧を分かち合っています。開祖さまがすべての宗教の調和を願われたことを知り、私は立正佼成会の教えをいただいていることをとてもうれしく思い、自分の信仰に一層の自信を持てるようになりました。

最後に、今年シカゴ支部で開催されたアドバンスセミナーで学んだ「一期一会」という言葉を、皆さまと分かち合いたいと思います。「この瞬間、そして二度とないこの出会いを通して、私たちは永遠の存在とのつながりを体験することができる」そのように私は解釈しています。

み仏さま、開祖さま、会長先生、そして大好きなサンガの皆さま、ご清聴ありがとうございました。



奉獻のお役をつとめるトーレスさん(右)

A stylized lotus flower graphic in shades of red and pink, positioned behind the text. The flower has multiple layers of petals, with the innermost petals being a lighter shade of pink and the outer petals being a darker red. The petals are arranged in a symmetrical, fan-like pattern.

Living the LOTUS

法華三部經

各品のあらましと要点

妙法蓮華經

信解品第四（２）

いくら仏に背を向けても

いうまでもなく、この「大長者は仏さまであり、放浪の息子はわたしたち衆生です。われわれはまちがいに、なく仏の子であるのに、そういう尊い自分であることを自覚しないために、みずから仏の道に背を向け、苦の世界をさまよい歩いてしまうのです。しかし、親子のきずなは強いもので、自分が仏の子である（仏性をもっている）ことは知らずに世間をさすらい歩いても、いつしか仏さまのおられるほうへ近づいていくのです。人間の本質（仏性）のしからしめるところといわなければなりません。そこが、いうにいわれぬありがたいところです。

衆生は仏さまの門の前に立っても、仏さまが自分の父であるとは知らないのですが、仏さまのほうでは、あれはわが子だとちゃんと知っておられます。これもたいへん意味の深いことです。つまり、宇宙の大生命ともいうべき久遠の本仏は、いつもわれわれの心や身体の内にも外にも満ち満ちておられるのに、われわれは気づかないのです。本仏のほうでは、われわれが気づくのを待っておられるのです。真理は、つねに知られることを待っているものです。

自分の仏性を知らぬ衆生

そのために、人間としての釈迦牟尼世尊がこの世に出られ、久遠の本仏と衆生は本来、一体であるということを悟らせようとしてくださるのですが、あまりにもその教えが深遠なので、衆生たちは——とても

自分のような凡夫の近寄れる境地ではない——という卑屈な考えから、かえって恐れをいだいて、その教えの門前から逃げさって行くわけです。

そこで仏さまは、方便を使って、衆生と同じような姿はしているけれども、それより少しは機根の高い二人の男、すなわち仏さまのお屋敷の下働きでとにかく心の安定を得ているもの（声聞と縁覚の境地を得ている人）を使いにだし——こんな人となら仲間になれそうだ——という心を起こさせ、お屋敷の下働きにされました。ということは、つまり、仏さまは決して衆生を見捨てることをなさらず、なんとかして自分自身の仏性にめざめさせようと、さまざまな手立てを用いられるということにほかなりません。



低い段階も大切

そして、汚い所を掃除する仕事をさせました。というのは、心の迷いを取り除く修行を勧められたということです。仏さまは、そういった修行によって、しだいに仏の教えに親しませてから、「おまえをわたしの子にしよう」といって、仏さまと同じ悟りの境地へ引き上げようとされるのですが、まだまだ子どものほうでは、仏の悟りなどは自分とはまったく関係のない、段違いの境地だと思い込み、低い境地に甘んじながら、長いあいだコツコツと修行を続けたわけです。これも、決して見逃してはならない大事なことで、仏の境地を悟れるような機根は、やはりそのような修行の連続によってこそ得られるのだという教えなのです。

そうしているうちに、衆生も仏の教えに広く通じるようになり、次第に心の自由自在を得るようになってきました。そこで、支配人に取り立てて、教えの蔵のことをすっかりお任せになるわけです。

しかし、衆生のほうでは、仏さまの教えを人に伝えるような大切な仕事をしながらも、まだ自分が仏さまの実子であるなどとは夢にも思いません。すなわち、自分の本質は仏さまと同じだなどということは少しも知らず、いわば仏さまは主人、自分は使用人と、そのあいだにはっきり一線を引いているのです。

みずからの仏性に目覚める

ところが、仏さまは、ご入滅^{にゅうめつ}を前にして法華經を説かれ、「仏と衆生とは他人ではない。支配者と被支配者の関係ではない。もともとは一体の親子なのである。だから、だれでも仏の全財産を相続できる。すなわち、すべての人が仏と同じ境地になれるのだ」という大宣言をなさいました。

そこではじめて、衆生も仏の教えの真実を理解することができ、思い掛けない財宝（仏の悟り）が確実に自分のものになるのだということが分かって、大^{だい}歡喜^{かんぎ}したわけです。

自己の本質の尊さを知れ

この譬^{たと}え話に教えられた精神を一言^{いちごん}にしていえば、「自分は迷った人間だ、罪の子だなどという卑屈な考えを捨てて、仏の子であるという真実に目覚めよ」ということです。すなわち、「自己の本質の尊厳さを発見せよ」ということです。

そういう自覚ができると、あまりみつともないことはできなくなります。たとえ煩惱はもとのように起こっても、それに振り回されて失敗したり、苦しんだりすることはなくなります。欲望は前と同様に起こっても、自然とそれをいい方向に向けて使うようになります。それだけでも、たいへんな救いなのです。



(庭野日敬著『法華三部經 各品のあらましと要点』

佼成出版社, 2016年[初版 1991年], p. 63-68)

「思いやり」を心の習慣に

「寒中読誦修行」^{かんちゅうどくじゆしゆぎょう}中の方も多いと存じます。寒修行が終わって初めて新しい年のスタートと感じられる方も多いのではないのでしょうか？

本年、会長先生は、毎月のご法話で法華三部經の經文を解説くださっています。2月は、無量義經の說法品からの引用です。「憐愍^{れんみん}の心を生じ大慈悲^{だいじひ}を發^{おこ}して將に救拔^{きうはつ}せんと欲し、又復深く一切^{またまたふか いっさい}の諸法^{しよほう}に入れ^い」とあります。これは、「目の前の人を憐れみ、思いやりの心を奮い立たせて、『苦しみから救いだそう』と決心しなさい」と、仏さまが菩薩に向けて説かれている言葉です。

そのような心になるためには、母が子に無条件で救いの手を差し伸べるように、自分と相手を一つと見ること、さらに「すべては一つ」という見方によって「思いやり」を心の習慣にすることが大切であると確認くださっています。

今月は、思いやりの実践が、自然とできる私になることを目標に精進させていただきます！

国際伝道部長
齋藤 高市

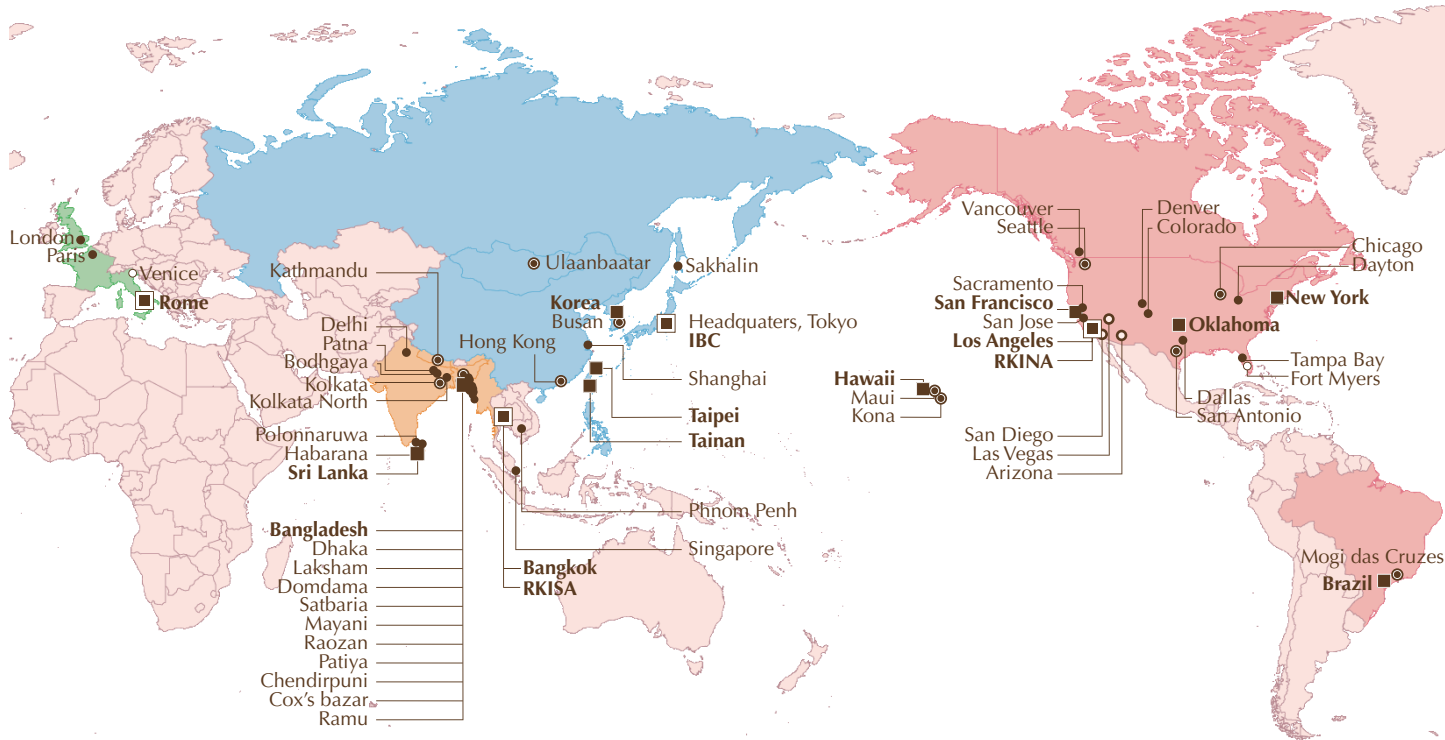


✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai International

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
 Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224
 e-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street, Suite #1, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
 Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
 e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003 U.S.A.
 Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261
 e-mail: rkseattlewashington@gmail.com
 http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.
 P.O. Box 692148, San Antonio, TX 78269, U.S.A.
 Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745
 e-mail: dharmasanantonio@gmail.com
 http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.
 Tel: (727) 560-2927 e-mail: rktampabay@yahoo.com
 http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.
 Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633
 e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.
 Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740 U.S.A.
 Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.
 Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567
 e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.
 Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437
 e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016 U.S.A.
 Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499
 e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056 U.S.A.
 Tel: 1-773-842-5654 e-mail: murakami4838@aol.com
 http://rkchi.org/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112 U.S.A.
 Tel: 1-405-943-5030 Fax: 1-405-943-5303
 e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204 U.S.A.
 Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419 U.S.A.
 http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,
 CEP 04116-060 Brasil
 Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377 Fax: 55-11-5549-4304
 e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,
 CEP 08730-000 Brasil
 Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Jhongjheng District,
Taipei City 100, Taiwan
Tel: 886-2-2381-1632 *Fax:* 886-2-2331-3433
<http://kosei-kai.blogspot.com/>

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District,
Tainan City 701, Taiwan
Tel: 886-6-289-1478 *Fax:* 886-6-289-1488

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420,
Republic of Korea
Tel: 82-2-796-5571 *Fax:* 82-2-796-1696
e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
Tel: 82-51-643-5571 *Fax:* 82-51-643-5572

International Buddhist Congregation (IBC)

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 *Fax:* 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibc-rk.org/>

Branches under the Headquarters**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,
North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960 *e-mail:* rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**Rissho Kosei-kai of South Asia Division**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division**Rissho Kosei-kai of Delhi**

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rampur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur, Kathmandu,
Nepal

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Rissho Kosei-kai of Patna**Rissho Kosei-kai of Singapore****Thai Rissho Friendship Foundation**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 *Fax:* 66-2-716-8218
e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel & Fax: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station:
Mirshari, District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu**Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 *Fax:* 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Habarana

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**Branches under the Headquarters****Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax: 39-06-48913949 *e-mail:* roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK**Rissho Kosei-kai of Venezia****Rissho Kosei-kai of Paris**